

東部地区の児童・生徒の増加に伴う対応に関する説明会の実施報告

1 説明会実施の概要

- ・市の東部地区では、当分の間、小・中学校の就学年齢人口の増加が見込まれる。自然増に加え、大規模な開発行為などにより住宅の建設が進行していること、又は予定されていることが、その要因となっている。
- ・教育委員会では、昨年7月に、東部地区の児童・生徒の増加に対する基本的な方向性（調整区域の見直しと校舎の増築）についてお知らせするために説明会を開催した。
- ・直近の情報により推計したところ、これまでの想定よりも児童・生徒が増加する傾向が見られることから、調整区域の見直しを行うこととした。そのため、昨年度に引き続き説明会を開き、今後の対応について具体的な内容をお知らせした。

2 説明会の実施状況（平成29年7月10日～13日）

(1) 実施状況（市の東部地区の小学校5校を会場として、各1時間程度の開催）

開催日時	会場	出席人数	開催日時	会場	出席人数
10日(月)10:00～	第十一小	66人	11日(火)17:00～	第五小	52人
10日(月)17:00～	第八小	36人	13日(木)17:00～	鈴木小	18人
11日(火)10:00～	花小金井小	89人	合計	5校	261人

(2) 出席者の内訳

	合計	保護者	未就学保護者	その他
人数	261人	96人	155人	10人
割合	100.0%	36.8%	59.4%	3.8%

※その他：保育園関係者、学校経営協力者、民生委員等

3 説明会の内容

(1) 説明内容

① これまでの経過

- ・人口と世帯数の推移
- ・対応策の実施状況

② 今後の対応

- ・生徒数の推計と対応の検討
- ・対応の具体的な内容（別紙1・2）

小平第六中学校が指定学校で、花小金井南中学校が選択可能学校である調整区域の解除
小平第十一小学校が指定学校で、小平第五小学校が選択可能学校である調整区域の解除

(2) 質疑応答

主な質問は、指定学校変更の可否に関するものであった。

- ・調整区域の解除に伴う指定学校変更の可否について
- ・指定学校変更に関する一般的なこと